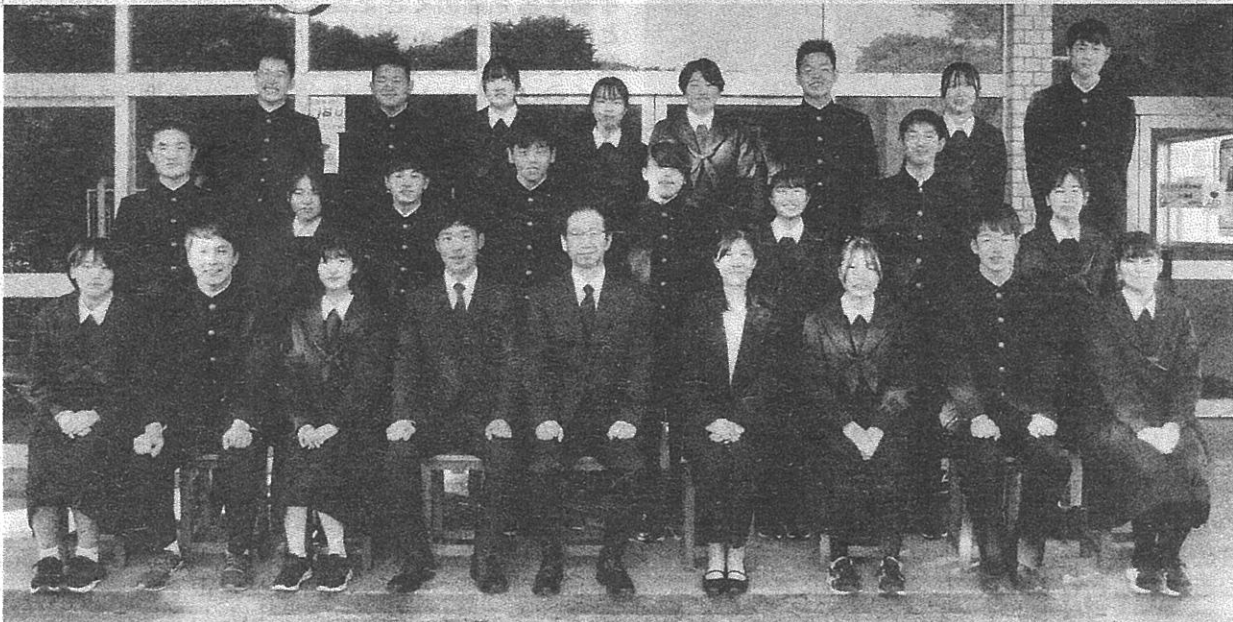


キララだより

No 6

学校目標「ゆたかさ たしかさ たくましさ」

本年度も多くのご支援 ありがとうございます 本日 卒業式を迎えました



ユーモアにあふれ、学校の顔として全校の見本となり、学校全体を引っ張ってきてくれた卒業生の皆さんが、本日、卒業の日を迎え、巣立ちます。

3年間コロナ禍での中学校生活は活動しづらいことも多かったことと思いますが、様々な困難を学級力で乗り切ってきた皆さん、この3年間で培ってきた力は今後の生活に生きてくることでしょう。元気に羽ばたいていってください。

令和4年度 飯田市立竜東中学校 卒業証書授与式 学校長式辞

春の息吹とともに、ひとまわり大きく膨らんだ桜のつぼみに、希望あふれる季節の訪れを感じる今日、このよき日。

学校運営協議会会長様、まち地域づくり委員会各会長様、同窓会会長様、PTA会長様はじめ、多数の保護者の皆様のご臨席を賜り、令和四年度 第五十三回卒業証書授与式が挙行できますことを、心から感謝し、厚くお礼申し上げます。

アフターコロナまでもう少しと期待しつつ、感染予防の観点から、一部略式で進めてまいります。心をこめた思い出深き式となりますよう、会場の皆様にはご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんは、本日をもって、九年間の義務教育の課程を終えることとなります。皆さんが健康にこの日を迎えられたことを、大変嬉しく思います。この三年間、とりわけ最終学年のこの一年間は、皆さんから多くの感動をもらい、また、学校の伝統と文化を積み上げてくれました。

「観る人に感動を与えられるような花壇をつくりたい」と全校に呼びかけ、コンクールで最優秀賞の大賞を得たこと。部活動では、男子ソフトテニス部県大会優勝をはじめ、どの部活動でも、リーダーシップを発揮し、後輩を育てながら技能と心を磨いたこと。また、3年振りの県外宿泊となった修学旅行では、ゆく先々の見学地での、素早い行動と学習意欲。結果、予定以上の見学も楽しめました。日々の学習でも、積極的な発言、作品づくりや作業に対する丁寧さ。心と体を向ける聴く姿勢などは、目を見張るものがあります。

本校がめざす姿、「たくましさ・たしかさ・ゆたかさ」を、みごとに具現化してくれました。皆さんの



この姿は、後輩に引き継がれ更なる伝統となっていくことでしょう。

皆さんには、『素直さ』があり、『スポンジのような学びの吸収力』があります。どうか、これからもその素直さを魅力のひとつとして大切にしてください。

経営の神様と称される松下幸之助氏は、「人生で大切なことは『素直な心』を身に付けること」とも言っています。ここでいう『素直な心』とは、人の言うことに何でもハイハイと聞くことでなく、幼児のような無邪気さでもない。自分一人の努力や能力だけでは物事はうまく進まないことを理解し行動する心だとしています。苦しいときに人のせいにしてたり比べたりせず、また、上手くいっているときもうぬぼれるのではなく、それぞれの路を素直に生きていくことが、争い事を起こさず、強さと正しさと聡明さにつながると教えてくれています。



今、世界では、私たちが当たり前だと思っているものが当たり前ではない、国や社会があります。平和学習を進めてきた皆さん。これから広い世界へと羽ばたく皆さんには、どうかその素直さを持って、互いを認め合い、助け合い、支え合える幸せな社会をつくるひとりとして活躍されることを期待しています。

この後、全校で歌うラストソング「あなたへ」の一節を読みます。

旅立ってゆくのですね
温かな巣をあとにして
愛と涙 そして知るだろう
人生という名の迷路の果てに
信じあえることの喜びと
悲しみを知った分 優しくなれることを

学校生活の9年間皆さんは、迷いや不安、悲しい涙・嬉しい涙、様々な経験をしてきました。だからそこな立派に成長しました。卒業式が終わったら、お世話になった方、共に歩んだ仲間、そして育ててくれた保護者に、みなさんの優しい気持ちを伝えて今日の節目を刻んでください。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。長くも、そしてあっという間にも感じられる義務教育の9年間だったことと思います。とりわけコロナ禍のこの三年間は、様々な面でご理解、ご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。今後は、人生の先輩、一番の理解者として一歩うしろから自立していく姿を見守ってあげてください。また、地域の良き理解者として、本校の教育活動にさらなるご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、卒業生の皆さんの輝ける未来に、幸多からんことをお祈りして、式辞といたします。

令和5年3月15日
飯田市立竜東中学校 校長 持田 貴康

送る言葉

厳しい寒さの中にも、春の訪れを感じることでできる季節となりました。竜東中学校を卒業される23名の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同心よりお祝い申し上げます。

2年前の春、入学してきた私達を笑顔で迎えてくださったことを今でも覚えています。緊張していた私達に優しく声をかけてくださった先輩方は、新しく始まる中学生活への不安を和らげてくださいました。

先輩方は「色彩」～思いを動きに、動きを進化に～を生徒会スローガンとして一年間竜東中学校を作り上げ、引っ張ってきてくださいました。

生徒会活動では、話し合いや意見を聞く場を設けてくださり、積極的に意見がしやすい雰囲気を作ってくださいました。その中で私は、一人一人が生徒会に積極的に参加し、過ごしやすい学校を作っていくということが大切だと感じました。

雲母が丘祭では、コロナ禍のため、対策をとりながらの開催となりましたが、全校で盛り上がることでできる企画を考えてくださり、楽しむことができました。



部活動では、先輩方と関わる事のできる機会が多くたくさんのお出ががみがあります。大会などがあるときは全力で練習に取り組み、一致団結する事ができました。先頭に立って部活動を支えてくださり、ありがとうございました。

何事にも全力で取り組む先輩方は、私達の憧れです。これまで先輩方が築き上げてきた伝統を私達で引き継ぎ、全校が過ごしやすく、楽しいと思える学校を作っていくように日々一生懸命活動を取り組みたいと思います。



この3年間で培った力を大きな支えとして、先輩方が次の世代の先頭を切り、どんな困難も乗り越えて行くことを心より期待しています。

最後に、今まで数々のことをご指導いただいた先輩方に感謝の意を表し、卒業生の皆様のご活躍をお祈りして、送辞とさせていただきます。

令和5年3月15日
在校生代表 田中 莉里花

別れの言葉

♪「眉青く 眉青く 共に目指す 質実剛健」
皆さんもご存知の通り、竜東中学校の校歌にはこのような歌詞が登場します。「眉青く」とは若々しく、明るくという意味だそうです。僕はこの三年間を通して眉が青いと「どんな困難でも乗り越える力を持つ」とことだと考えるようになりました。

僕たち三年生の中学校生活は、休校期間を経た後、体育館での授業から始まりました。普通棟の校舎で学校生活を送ること、教室で給食を食べること、そしてマスクなしの友達の笑顔。それまで“当たり前”だった学校生活は、そこにはありませんでした。もちろん、コロナの影響を受けたのは僕たちの学年だけではなく、入学直後の幼かった僕たちは、その“当たり前”に慣れていました。

日々が過ぎ、マスク越しの友達の笑顔が当たり前を感じるようになってきた頃、制約付きで学習、部活動、行事、と徐々に生活は戻ってきました。今年度は、文化祭を始め、修学旅行やいろいろな行事や学習を最低限の制約のみで行う事ができました。部活動や委員会自分達が先頭に立ち、計画、実行しやり遂げた時の嬉しさは忘れられません。ですが、その中でも、コロナが完全に影を潜めたわけではないと実感させられる場面はいくつもありません。

こんないつも通りではない中学校生活は、僕たちに明るく前向きに考える力を持たせてくれたように思います。「体育館が教室代わりなら休み時間に走って遊べる」「教室に集まらないのなら他の方法でつながればいい」。当たり前が無い状況でも、新しい当たり前を作り出せばいい。困難を困難と捉えない気持ちを育ててくれました。

また、日常の“当たり前”があるありがたさを教えてくれたもう一つの要因は、戦争の歴史や世界の今を学んだ平和学習です。ある日いきなり当たり前が壊される恐怖。修学旅行で訪れた広島で、僕たちは平和が決して当たり前ではなく意識して作っていくものだと知りました。今この時にも戦禍の中で苦しんでいる人々がいます。友達と会えること、ご飯が食べられること、受験で悩めること、今の自分の立場を感謝せずにはられません。



今日こうして卒業式を迎えることができたのは、先生方、一・二年生、地域の皆さん、保護者の方の支えがあったからです。大変な時期を支えていただき本当にありがとうございました。

最後に、僕たち卒業生一同「竜東中学校卒業生」ということを誇りに思い、眉青く、これからも自分の色を出していくことを誓います。

令和5年3月15日
卒業生代表 五島 誠太郎

PTA会長挨拶

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

中学校生活の三年間、皆さんにとってどんな三年間だったのでしょうか。あっという間に感じた人も居れば、長い時間に感じた人など、さまざま思いがある事と思います。

今年卒業する皆さんは入学した時から、新型感染症流行の真っ只中でした。普通なら『どんな子がいるんだろう』『友達になれるかな?』と、期待と不安を抱きながら始まるはずだった中学校生活のスタート。しかし、休校や半日登校。初めて出会う他校の仲間達は全員マスク姿。授業は教室ではなく体育館で行い、給食の時間は全員黒板を向いての黙食。部活動の中止や各行事の中止、縮小。日常生活では毎朝の検温、手洗いうがい、マスクの着用。など様々な制限化の中で始まった厳しく、寂しい中学校生活始まりだったと思います。保護者である私たちも学校へ行く機会が極端に減ってしまい、中学校での子供の姿を見る事が少なくなってしまいました。

そんな中であっても、家での子供の様子を見ると最初は戸惑いがあったものの、楽しそうに学校に通っていました。子供の話や未来先生のお便りを通して、クラスの仲間たちと自分たちでできる事を探しながら生活しているのだと思います。

そして、三年間の集大成である文化祭。私達保護者も近くで見ることが出来ました。三年生主体で一生懸命取り組んだ事でしょう。クラスの一人一人が心から楽しんでいる様子。緊張しつつも物怖じすること

なく一つ一つを全力で取り組む姿は心を打たれました。未来先生のステージパフォーマンスも素晴らしかったですね(笑)。全体を通してとても素晴らしく、素晴らしい仲間達と三年間過ごせたのだと、改めてわかりました。保護者の皆さんも同じように感じたはずですよ。



感染症の影響により、厳しく、辛く、寂しくあっても、それに潰される事無く逞しく過ごした三年間は皆さんを大きく成長させ、その経験は大きな財産となる事でしょう。4月からは皆さん一人一人が選択した道を歩いていくこととなります。仲間たちと離れ離れになってしまうのは辛いかもしれませんが、皆さんは固い絆で繋がっています。前を向いて、振り返ることなく進み続けて下さい。次に会う時に、より成長した自分の姿をお互いに見せ合いましょね。どこかで出会えることを、私も楽しみにしています。

令和5年3月15日

竜東中学校 PTA 会長 桑原 條

保護者代表挨拶

本日、この竜東中学校から巣立って行きます 23 名の卒業生の保護者を代表いたしまして、ひと言、お礼の言葉を述べさせていただきます。

やわらかな日ざしに花のつぼみもふくらみ始めた早春のこの佳き日に、私どもの子どもたちのために、厳粛かつ盛大な卒業証書授与式を執り行なっていただきまして、誠にありがとうございました。校長先生をはじめ、諸先生方、ご臨席賜りました来賓の皆様、地域の皆様に、保護者一同心より御礼申し上げます。

思い起こしますと、真新しい大きな制服と少し大きいかばんを背負い、大きな期待と少しの不安を胸に抱き、竜東中学校へ入学した日が鮮明に思い出されます。入学早々のコロナ休業に始まり、まさしくコロナとともにあったこの3年間は、さまざまな学校行事や部活動が中止されたり、縮小・制約を受けることの連続でした。そんな困難の中でも子どもたちは、それぞれが工夫を凝らし、新しい活動を作り上げてくれました。制約の中でも精一杯盛り上げた文化祭、実施時期は変更されたものの予定通りの行程で実施できた修学旅行から帰ってきた子どもたちの笑顔は忘れることができません。当たり前なことが当たり前でできることのありがたさと、それを支えていただいた先生方の並々ならぬ努力に改めて深く感謝申し上げます。

子どもたちは、溢れんばかりの思い出と感謝を胸に、今日この学び舎を巣立ってまいります。それぞれに道は異なりますが、竜東中学校で培った力で、力強く乗り切ってくれることと信じております。誠に勝手ながら、先生方には今後とも温かく見守ってくださいますようお願い申し上げます。



最後になりますが、竜東中学校のますますのご発展をお祈り申し上げますとともに、校長先生をはじめ教職員の皆様、ご参列くださいました来賓の皆様、3年間温かく見守っていただきました地域の皆様のご健康とご活躍をお祈りし、保護者代表の挨拶とさせていただきます。3年間、どうもありがとうございました。

令和5年3月15日

卒業生保護者代表 松澤 健

～今後の日程～

3月29日(水) 準備登校日の日程

登校 8:30
・教室移動・式練習・入学式準備 等
下校 10:55

4月 6日(木) 入学式・1学期始業式の日程

登校 12:40
・入学式・始業式・写真撮影・片付け 等
下校 15:40

～今年度末で転任される先生方～

野竹 国雄 教頭先生 天龍村立天龍小学校へ
小澤 未来 先生 飯田市立飯田東中学校へ
牧 真美 先生 飯田市立飯田東中学校へ

☆ありがとうございました☆

休み中の生活について

○休み中にも、新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染予防に留意し、体調管理をお願いいたします。学校でお配りしてある体調チェックカードの記入もお願いいたします。

○休み中何かお困りのことがありましたら、学校までご連絡ください。